

平成17年度 事業報告及び決算報告書

東京都文京区湯島2-31-2
財団法人 吉岡文庫育英会
理事長 吉 田 義 男

平成 17 年 度 事 業 報 告 書

1 事業の状況

(1) 奨学金の給付

大学院生 22 名(うち新規 10 名) 1人月額 25,000 円

(2) 学生寮の維持運営

「該当なし」

(3) 奨学生の指導のための研修会

開催 春冬 2回

一回あたり参加人数 22 名

一回あたり所用費用 (平均)603,942 円

(4) 事業の概要

1) 奨学生の採用と奨学金の給付

本年度も前年同様、下記応募要項をもって募集を行ったところ、応募者が 28 名あり、選考委員会において、そのうち 10 名を本奨学生として決定した。

募集要領	応募資格	日本国内の建築及び関連学科を専攻する 大学院生
	採用人数	10 名
	奨学金	大学院課程終了まで
提出書類	在学証明書、成績証明書、建築教官の推薦状、大学院における研究テーマの概要	
審査	選考委員会で決定	

本年度奨学生は前年度採用 12 名を加え、総数 22 名である。

奨学金は、月額 25,000 円を 6 カ月分まとめて、7 月と 12 月に支給した。

2004 年度奨学生 (12 名) 別紙の通り
2005 年度奨学生 (10 名) 別紙の通り

2) 奨学生ゼミナールの開催

①建築家・岡部憲明氏、建築家・堀部安嗣氏を講師に迎え、新旧奨学生参加のもとにゼミナールを開催

奨学生には今後の学習・研究面において、大変参考になり好評であった。

開催日 平成 17.6.28 建築家・岡部憲明氏
平成 17.11.25 建築家・堀部安嗣氏

3) 優秀作品の表彰

①2005サステナブル建築世界会議東京大会記念 新建築住宅設計競技2005の開催

SB05Tokyo日本組織委員会・株式会社新建築社と当財団の共催で、下記の要項で設計競技が行われた。

課題: ACTION for SUSTAINABILITY

審査員: 安藤忠雄(建築家) リチャード・ロジャース(建築家)

課題出題: 村上周三(SB05Tokyo日本組織委員会委員長・慶應義塾大学教授)

スケジュール:

応募締め切り 2005年6月13日

一次審査: 安藤忠雄、リチャード・ロジャース両審査員により3組ずつ、計6組選出。

それ以外に佳作を7組選出

二次審査: 2005年9月29日、2005サステナブル建築世界会議東京大会会場(東京・新高輪プリンスホテル)にて、審査員同席のもと公開審査を行う。

その後、同会場にて表彰式及び、審査員・課題出題者による総評。

応募総数: 465点(世界38カ国より)

入賞者:

1等(1組/賞金60万円)

畑友洋

2等(2組/賞金30万円)

小川文象

山信宏+藤本鉄平+堀川斉之+木村吉邦+水上修二+和多田円+蘇意霊

3等(3組/賞金10万円)

倉橋尉仁

ジョゼフ・コリィ+エイヤル・マルカ

ゲンタロウ・シマダ＋フィリップ・キューネ
佳作(7組)
百枝優＋山根信太郎
品川千香子＋新雄太＋高藤伸行＋橋本剛＋林田未央＋村上貴彦
多田正治
松浦勇一＋甘粕敦彦
藤井亮介＋ナルジス・レムリーニ
金井謙介＋小池正浩＋井上聡子＋宮本聡子＋岩崎匠＋佐藤圭太
木下祐輔

②吉岡賞表彰

(住宅作品の表彰)

当財団の主催する吉岡賞(住宅設計における、新人賞)は回を重ね、平成 17 年度は第 21 回、吉岡賞表彰式が下記の通り行われた。

吉岡賞は『新建築住宅特集』の新人賞として、住宅作品を通して建築設計の新たな展開に大きな可能性を感じさせる新人の奨励のために、その作品の設計者を表彰するもので、年 1 回選考が行われる。これは前記『新建築』誌を創刊した、故・吉岡保五郎を顕彰して設けられたもので、故人が設立した当会の主催により開催される。今回の審査は『新建築住宅特集』2004 年 1 月号から 12 月号までの間に掲載された作品に加え、『新建築』誌に掲載された住宅に関係の深い作品を対象にしている。審査はあらかじめ各審査員から推薦候補作品を 5 点ずつ、計 10 点を提示し、その中から座談会形式で最終審査を行い、今回は下記の 2 点が入選と決定した。

なお表彰式は下記の通り平成 17 年 4 月に、実施され同時に、第 21 回 吉岡賞受賞者による講演会『家づくりで考えること』も行った。

受賞作品 有馬裕之「0 | 8」

千葉学「MESH」

4) 講演会の実施

①吉岡賞受賞者による講演会

前述の通り、第 21 回 吉岡賞受賞者による講演会『家づくりで考えること』を表彰式と合わせて 17 年 4 月 8 日にリビングデザインセンター OZONE にて開催した。

第 21 回吉岡賞受賞者講演会

平成 17 年 4 月 8 日 会場 リビングデザインセンター OZONE 入場者数: 60 名

講師 (1) 有馬裕之 受賞作品「0 | 8」

(2) 千葉学 受賞作品「MESH」

協力 (株)新建築社

②「建築・空間デジタルアーカイブス」シンポジウム+レセプション

2005年度、国土交通省の支援のもと、日本で初めての建築関連資料のデジタルアーカイブ「建築・空間デジタルアーカイブス」設立にむけて、2005年10月28日、三田共用会議所(東京都港区)において、設立に向けてのシンポジウムを発起人代表として楨文彦氏、そして建築家、建築関連団体、教育研究機関の有識者を集めて開催、活発な議論と意見交換を行った。シンポジウムの開催にあわせ、関係者の意見交換、親睦を目的にレセプションを行い、今後の活動にむけて積極的な意見交換などが行われ、その後の「建築・空間デジタルアーカイブス」の設立準備活動において重要な役割を果たした。

5) 研究補助金の支給

平成17年度の研究補助金は下記の通り5件に対して行った。

①平成17年4月13日	清家清展実行委員会	¥2,000,000
②平成17年7月6日	信州名匠会	¥200,000
③平成17年9月13日	吉村順三建築展実行委員会	¥200,000
④平成17年11月30日	建築研究助成金栗林一路氏	¥200,000
⑤平成18年1月13日	建築研究助成金西氏他4名	¥1,250,000